

## 行徳湿地と猫実川をむすぶ開渠プラン

2007年9月8日 蓮尾純子

三番瀬再生計画では、行徳湿地に関する課題として、①海水の流通をよくする ②淡水の導入をはかる ③深みを浅くする の3点が挙げられています。

このうち、海水の流通のため、千鳥町付近にある千鳥水門を拡幅(増設)することについては具体的な計画が挙げられていますが、三番瀬に直結する暗渠水路の開渠化については、湾岸道路とJR京葉線があることから、具体化はむずかしいとされています。京葉線地先の市川市市有地の部分については、景観上の要請もあり、開渠化には難点はないものと思われます。しかし、この部分の開渠化のみでは行徳湿地への影響は少ないでしょう。

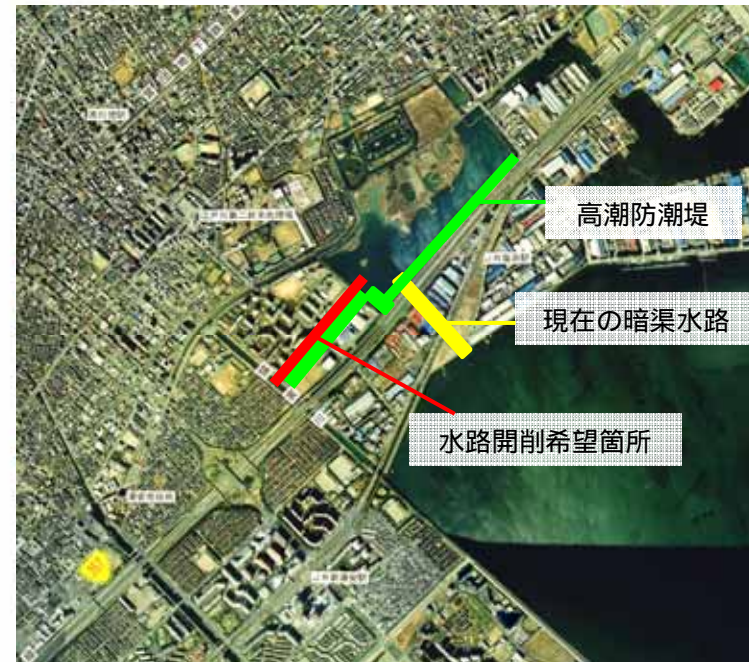
行徳湿地での海水の流通をよくするためのプランとして、第19回の再生会議時に湾岸道路と平行した水路の造成について発言しました。遅くなりましたが、提案内容について説明させていただきます。

- 位置 市川市塩浜4丁目に設置された高潮防潮堤内側の緑地
- 緑地の幅は約10m。防潮堤のすぐ内側は幅約3mの管理用地(通路)
- 緑地の全長は約600mで猫実川に至る。
- ここに幅2~3mの水路を設けて行徳湿地と猫実川の海面をむすぶことはできないだろうか。

難点(水路開削希望地内の構造物)

- A 中央部の30m道路
- B 猫実川にかかる水管橋の橋脚
- C・D 行徳湿地隣接の吉野工業所へ電力を供給している高圧鉄塔2基

これまで検討されていないプランですので、これが猫実川や行徳湿地、また三番瀬の環境や生物にどのような影響を及ぼすかといった基本もまだわかりません。検討のためのはじめの一步としてご覧下さい。



行徳湿地(南門)から見た緑地 D 高圧鉄塔(吉野工業所への引込塔)



道路脇の立札

A 30m道路



塩浜体育館付近から見た緑地



B 水管橋の橋脚



C 高圧鉄塔



(2007/09/07 21:20 三番瀬再生推進室ほかの方々に送付したメールより)

三番瀬再生推進室さま (お世話になっている再生会議委員ほかのみなさま)  
再生会議委員の蓮尾純子です。

台風の被害など、みなさま大丈夫だったでしょうか。

第19回・20回の再生会議席上で、猫実川と行徳湿地をむすぶ水路開削について発言いたしました。本来は発言の際に用意すべきであった説明図をようやく作りましたので、添付させていただきます。

9月11日には必要部数をプリントまたはコピーして持参するつもりですが、何部作ればよろしいでしょうか。お忙しいところ申し訳ありませんが、お教えいただければありがたいです。

なお、いろいろと課題がある中で申し訳ないのですが、既に一部の方にはご連絡させていただきましたように、再生会議の場で以下の提案につきましてご検討をいただければと思っております。よろしくおはからいいただければ幸いです。

>

> ①行徳湿地検討グループの設置について

> 既に三番瀬再生実現化関連の小委員会も発足するようですが、行徳については最優先課題として目下事前調査等に力が入られて、改善工事についても具体的な検討が始まっています。可能でしたら、以前の行徳WGのように小回りのきく小グループ(再生会議委員参加は2、3名でも可)で関係各位や関係される専門家の方々も入った検討会がほしいと2、3年前から考えておりました。ご検討をお願いしたいと思います。

>

> ②人材育成・確保について

> 既に浦安市で干潟観察施設という話も出ておりますので、県庁内・中央博物館内・サテライトオフィス内・浦安市郷土博物館内、あるいはどこでも構わないのですが、最初は週に2、3日の非常勤という形からでも、どなたかお一人、三番瀬再生の専任スタッフを置くことはできないでしょうか。人件費確保ということで千葉県が動くことはたいへんむずかしいと思いますが、調査とりまとめ(というより連絡)というような形で、それぞれの年ごとにたとえば50万円~100万円の予算をとる(調査会社から出向というような形でも当初はよいのでは?)ことは不可能でしょうか。若手の研究者の方など、まずひとり(というより0.5人)からスタートしていただければと思います。ご検討を。